

県単独

12月県議会開会 補正予算提案

ワクチン接種に助成

1日、県議会12月定例会が開会し、吉村美栄子知事より補正予算案が提案されました。内容は、国の経済対策に呼応した対応、雇用対策、高温障害などに対する農林水産業への緊急支援、給与改正による人件費補正などで、144億1100万円の補正予算額となっています。県民の皆さんの関心が高いものをあげてみます。

子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン接種に助成
(細菌性髄膜炎)

県は、国の補正予算の動向を見て、子宮頸がんなどの予防ワクチン接種に独自助成する費用4億4400万円を盛り込みました。市町村が行うワクチン接種事業に国が2分の1補助しますが、県が4分の1助成します。市町村が4分の1助成すれば、全額助成されることとなります。



* 新日本婦人の会や社会保障推進協議会、知事のタウンミーティングなどでもワクチン接種に対する助成を求める要望が出され、私も県議会厚生労働環境常任委員会に取り上げてきました。県が要望にこたえ、年

こんにちは
渡辺ゆり子
2010年12月12日 第109号
発行 日本共産党県議会議員 渡辺 ゆり子
<連絡先>
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3231(受付)
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

内定奨励金を拡充

新卒など採用促進へ今年も支給

度内に実施できるよう、積極的な姿勢を示したことは評価したいと思えます。今後の課題は、現在少

来春卒業予定の生徒・学生の就職内定率が低迷していることを受け、県は昨年引き続き企業に内定奨励金を支給します。

昨年は新規高卒予定者が対象でしたが、今年はさらに高校既卒3年以内の人、新規短大・専修学校・大学卒業予定者にまで拡充されました。12月1日からの求人・内定を対象とし、300人で約4



* 内定奨励金は、県労連や高校の教職員などから「今年もやってほしい」の声が出されています。私も、県議会景気・雇用対策特別委員会、高校既卒3年以内の若者への就職支援対策などについて発言してきま

数にとどまっているワクチン接種助成自治体を県内全部に広げること、さらに任意接種から定期接種の方向での環境整備が求められています。引き続き、みなさんと力を尽くしていきたいと思います。



TPP交渉参加反対の意見書提出

11月臨時会で全会一致

11月25日開かれた県議会臨時会で、政府に対して「国内農業に甚大な影響を与え、我が国の食糧安全保障にも大きく影響することから、TPP参加は行わないこと」を内容とする意見書提出を全会一致で採択しました。

県職員給与引き下げに反対

11月25日の臨時会では、知事や議員の特別職のボーナス引き下げ、県職員の給与引き下げなど給与3条例が提案され、可決されました。

日本共産党県議団は、県職員の給与引き下げ条例について、笹山一夫県議団長が反対討論に立ち、連続引き下げであること、景気浮揚にとってマイナスであり、民間にも影響することなど反対理由を述べました。

採決で反対したのは、共産党県議団(2人)だけでした。来年度予算要求概要 1日は、来年度予算編成に向けた各部署の要求が示されました。予算規模は5985億円となっています。現在、不確定な要素がある国の動向をみながら、今後の査定を進めていくこととなります。

ゆり子の視点



住宅地でハンドマイク宣伝をして、雇用や社会保障に関する現状や課題、党の政策について訴えていた時、60代と思われる女性がアパートから出てきました。

「私思っていることを言っていたので出てきた。年金が少ないので働いているが、70(歳)近いので仕事ももう切られるだろう。国保税が高くて、払うと生活できなくなる。息子は別居しているが、派遣切りにあって失業して苦しんでいる」

そして、「こんなことを人に言ったのは初めて。議員さん

一人ひとりの草の根の声を聞くことは、政党本来の活動でもあります。住民の皆さんの思いとかみあった政策や活動が実現できるように苦闘している日々です。

現在、日本共産党山形市議団が取り組んでいる山形市民アンケートに返信が届いています。自由記述欄に思いをピシリと書き込んでいます。日本共産党の支持者やそうでない方、記名、無記名も含めて、寄せられた意見、要望、訴えです。